

# 平成29年度春日部中学校の教育

## 1 学校経営方針及び教育目標について

### (1) 学校教育目標

#### 「可能性に生きる」

・豊かな知性      ・あふれる情熱      ・熱い友情

### (2) 教育理念

「子どもの尊い命と無限の可能性をあずかる学校」 = 学校の使命

### (3) 経営理念

「信頼と活力のみなぎる学校」 = 「生きる力と絆(きずな)の埼玉教育プラン」  
「かすかべっ子 はぐくみプラン」

「自主の扉をひらく」教育活動を創造する。

○知・徳・体の調和を図りつつ、豊かな創造力を発揮できる「生きる力」を育てる。

○教師と生徒など人間同士のつながりや学校・家庭・地域の「絆」を深める。

○魅力ある学校づくりのための特色ある教育活動（攻めと連携）を推進する。

#### 【信頼される学校】とは

- ①生徒一人一人が生き生きと自己実現の図れる学校
- ②職員一人一人が自己の職責を自覚して厳しく磨き合う学校
- ③施設設備が充実し、花と緑にまつまれた心安らぐ学校
- ④保護者や地域社会の声に耳を傾ける開かれた学校
- ⑤保護者や地域の人々が誇りに感じる学校

#### 【活力ある学校】とは

- ①ひとつのところでとどまることなく、常に変化し進歩発展する学校
- ②生徒が生き生きと常に「可能性に挑戦」して生活している学校
- ③創意工夫と努力を惜しまず、生徒の進歩成長を喜びとする学校
- ④職員一人一人が常に子どもとともにあることに幸せを感じる学校
- ⑤職員の意欲、保護者の応援、地域の教育力あふれる学校

### (4) 経営方針

#### ①常態のレベルアップで「継承」と「創造」を推進する。

○長い歴史と伝統の中で着実に積み上げられた成果や財産を継承し、一層の定着、深化、充実を図る。（継承）

○成果や財産を単に継承するだけにとどまらず、創意工夫することで日々の教育活動の常態をレベルアップし、活力ある学校を創造する。（創造）

#### ②「自立」と「連携」で校力を高める。

○学校は組織体であり、それぞれの担当者が重要な役割を有している。それぞれの分掌は責任を持つて的確に遂行する。（自立）

○「自立」は単に職務に対する担当者個人の自立だけでなく、学年や部会等が役割分担を適切に行い、組織として機能し校力を高める。（連携）

#### ③「教師力」を高め、地域の負託に応える

○総合的な人間力を伸ばし、質の高い教育活動を行うことが、今、教職員に強く求められている。社会常識に欠けることなく、専門職としての実践的な指導力や職務遂行能力を身につけることによって保護者や地域の負託に応える。（教師力）

○これまでの経験を生かし、それぞれの持ち味を生かした教育実践を行う。（同）

### (5) 理念や方針を実現するために

#### ①生徒にとって魅力ある学校づくりの推進

ア人間尊重を基盤とした教育指導の推進

- ・「一人一人の生徒を大切にした指導」生徒の主体性を尊重する「気づき 考え 実行する」（JRC）の推進。
- ・豊かな心と健やかな体を育成する。
- ・善行を褒め、各種表彰を行う（「金山賞」、「ひまわり賞」、表彰内容の表示）。

イ基礎基本の定着と学力の向上

- ・「常に学ぶ者のみが教えられる」という基本姿勢
- ・「学力向上を目指し、豊かな心を育む生徒の育成」（教科・領域）の推進。
- ・「無回答」答案を減らす。書いてみたくなる問い。将来、困難な問題から逃げない人間を育成する。

- ・進路指導・キャリア教育、道徳教育、教科指導の充実を図る。
- ウいじめ・不登校生徒の解消
  - ・人権を尊重した教育の推進 「人権標語の作成」と掲示
  - ・担任と保護者との密接な連携 日頃から連携に努める。欠席生徒の保護者との電話連絡。
  - ・さわやか相談室や関係機関等との連携（さわやか相談員との連携）
- エ本校の伝統とする教育活動の充実と発展
  - ・合唱指導の充実「歌声の響く学校」
  - ・伝統を引き継ぐ教育「春中に残す10箇条」
  - ・国際性をはぐくむ教育「オーストラリア姉妹校交流」
- オ健康・安全への配慮
  - ・健康の保持・増進を図る
  - ・災害発生時の基本行動の確認と徹底及び広域の「避難訓練の実施」

## ②連携と協調のある指導体制の確立

- ア生徒指導における凡事徹底
  - ・生徒指導機能「自己存在感」「自己決定の場」「共感的人間関係」を生かす。
  - ・未然に防ぐ指導を工夫する。
  - ・授業規律の徹底、時間の厳守、あいさつの徹底、迅速な対応、組織的な対応に心がける。
- イ「生徒の学ぶ場」として好ましい教育環境の創出（清掃、掲示、言語等）
  - ・「環境が人をつくる」その環境は生徒と職員がつくる。
  - ・ペンキ塗り、故障箇所の修繕。施設の改善
  - ・「春日部中ナイスショット」の掲示。
  - ・教職員の言語環境の整備 「意欲の湧くことば」
  - ・安心で安全な教育環境整備に積極的に取り組む。校庭の体育用具の安全管理。
  - ・教室や廊下、校舎内外、校庭周辺への教育環境の向上。

### ウ良好な人間関係の構築

- ・生徒と日頃から望ましい人間関係をつくる。
- ・同僚、保護者、地域の方々との良好な人間関係を築く。
- ・しかる機会よりも褒める機会を増やす。
- ・困ったときは助け合う。

## ③保護者や地域等との絆を深め、信頼される学校づくりの推進

- ア学校だよりやHP等による、教育活動の地域社会への情報発信。
- イ中学校区における小中間の連携を密にした教育活動の強化。
- ウ「春日部中学校区青少年を育てる会」を軸とした青少年の健全育成
- エ部活動や体験活動を推進し、保護者や地域の教育力を生かす。
- オ学校評価を有効に活用し、教育活動の改善充実に生かす。

## ④子どもたちの「生きる力」を育むために、学校・家庭・地域の連携と協力

- 家庭教育は全ての教育の出発点。家庭で育む「生きる力」の勧め。
- 各家庭では、
  - ・いつも家族で「おはよう」「ただいま」「おやすみ」などのあいさつをする。
  - ・学校での出来事について子どもと話す。
  - ・早寝早起きを心がける。
  - ・家族みんなで毎日朝食を食べる。
  - ・お手伝いの習慣をつける。
  - ・親子で話し合っ、テレビ、ゲーム、スマホの時間などルールを決める。

## 2 今年度の重点

- (1) **学力向上** 授業力の向上、基礎基本の定着、家庭学習の習慣化（生活の記録ノートの継続化）
- (2) **健全で豊かな心の育成** あいさつ、道徳授業、清掃活動
- (3) **学級経営の向上** 学級生徒の理解、教室掲示の向上
- (4) **教師力の向上** わかる授業のために各種研修 若い教員の指導力向上 各種プチ研修の実施、言語環境整備
- (5) **保護者・地域の教育力の結集** 保護者会・部活動支援参加者の増員、青少年を育てる会の充実、地域活動支援
- (6) **部活動の充実** 積極的生徒指導 充実感をもてる活動
- (7) **学校行事の充実** 積極的生徒指導 学級づくりに活かす
- (8) **小中一貫教育の推進** 小学校での取組の把握 指導の一貫性を図る
- (9) **防災教育の推進** 自校だけではなく近隣小中学校と共に広域に実施する
- (10) **生徒のよさやとりえを伸ばす** 生徒のよさを認める指導

## 3 信頼される学校づくりを推進するために

- (1) 学校評価の結果を活かす
- (2) 校内施設設備等の安全管理及び校外での安全確保
- (3) 教職員事故の絶無